

クリア問題 十月(神無月)

月 日 名前

書くこと
(推敲する)

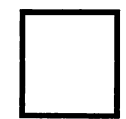
一 六年生になった町田さんは、一年間の目標を作文にまとめるために下書きをしました。読み返してみると、書き直したほうがよいと思ったところが見つかりました。書き直したほうがよいと思った理由と、どのように書き直したほうがよいかを説明したものととして、ふさわしいものをあとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

※文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

【書き直したほうがよいと思ったところ】

①わたしは、六年生として学校のためになるような仕事や活動に積極的に取り組もうと思った。②しかし、具体的にどんなことをしたらよいのかなやんでしまった。③そこで、先生に相談すると、
「あなたの好きなことが、学校のためにつながるとよいですね。」
と、話してくださったので、花が好きなどところを生かせばよいと気づいたので、花いっぱいの子供らしい学校にしようと思った。

- 1 ②の文には、「だれが」という主語がぬけているから、主語となる「先生」を書き足したほうがよい。
- 2 ③の文は、「」ので「が続いて長くなり、分かりにくいから、一文を分けて書いたほうがよい。
- 3 ③の文の「」の部分、先生が話した言葉だから、「話してくださった」まで「」に入れたほうがよい。
- 4 ①から③までの文は、述語が「した」になっているから、「です」や「ます」を使ったほうがよい。



二 六年生の高島さんは、五年生のときから入っている放送委員会のことを文章に書きました。読み直した後、③の文について、「だから」を使って二つの文に分けて書き直すことにしました。「だから」を使って二つの文に分けたときの前の文の終わりの七文字と後の文の始めの七文字を書きましよう。

【文章の一部】

①放送委員会の役員を決める話し合いをした。②ぼくは、委員長を任せられることになった。③新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

だから、

書くこと
(推敲する)

一 六年生になった町田さんは、一年間の目標を作文にまとめるために下書きをしました。読み返してみると、書き直したほうがよいと思ったところが見つかりました。書き直したほうがよいと思った理由と、どのように書き直したほうがよいかを説明したものととして、ふさわしいものをあとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

※文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

【書き直したほうがよいと思ったところ】

①わたしは、六年生として学校のためになるような仕事や活動に積極的に取り組もうと思った。②しかし、具体的にどんなことをしたらよいのかなやんでしまった。③そこで、先生に相談すると、
「あなたの好きなことが、学校のためにつながるとよいですね。」
と、話してくれたさったので、花が好きなどころを生かせばよいと気づいたので、花いっぱいこのことのきれいな学校にしようと思った。

- 1 ②の文には、「だれが」という主語がぬけているから、主語となる「先生」を書き足したほうがよい。
- 2 ③の文は、「〜ので」が続いて長くなり、分かりにくいから、一文を分けて書いたほうがよい。
- 3 ③の文の「」の部分は、先生が話した言葉だから、〈話してくださいさった〉まで「」に入れたほうがよい。
- 4 ①から③までの文は、述語が「〜した」になっているから、「です」や「ます」を使ったほうがよい。

2

二 六年生の高島さんは、五年生のときから入っている放送委員会のことを文章に書きました。読み直した後、③の文について、「だから」を使って二つの文に分けて書き直すことにしました。「だから」を使って二つの文に分けたときの前の文の終わりの七文字と後の文の始めの七文字を書きましよう。

【文章の一部】

①放送委員会の役員を決める話し合いをした。②ぼくは、委員長を任せられることになった。③新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

これが、理由を表して「だから」にあたるね。

そ う に し て い た

だから、

ぼ く は、 こ れ ま

〔参考〕過去の調査における正答率

問題番号	調査の名称 (実施学年)	正答率 (%)	
		(左:全国)	(右:長野県)
㊦	平成 20 年度 全国学力・学習状況調査 (6年)	33.7	28.6
㊧	平成 21 年度 全国学力・学習状況調査 (6年)	14.7	11.8

〔参考〕出題の趣旨

㊦	文の構成や表現の効果を確かめ、正しく推敲することができるかどうかをみる。
㊧	文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができるかどうかをみる。

〔参考〕解答類型と反応率

問題番号	解答類型		反応率 (%)	自校の反応率	正答
			(全国)		
㊦	1	1と解答しているもの	6.3		
	2	2と解答しているもの	33.7		◎
	3	3と解答しているもの	6.9		
	4	4と解答しているもの	51.0		
	9	上記以外の解答	0.1		
	0	無解答	1.9		
㊧	1	「そうにしていた」。(だから,)「ぼくは、これま」 などと解答しているもの	14.7		◎
	9	上記以外の解答	55.2		
	0	無解答	30.2		